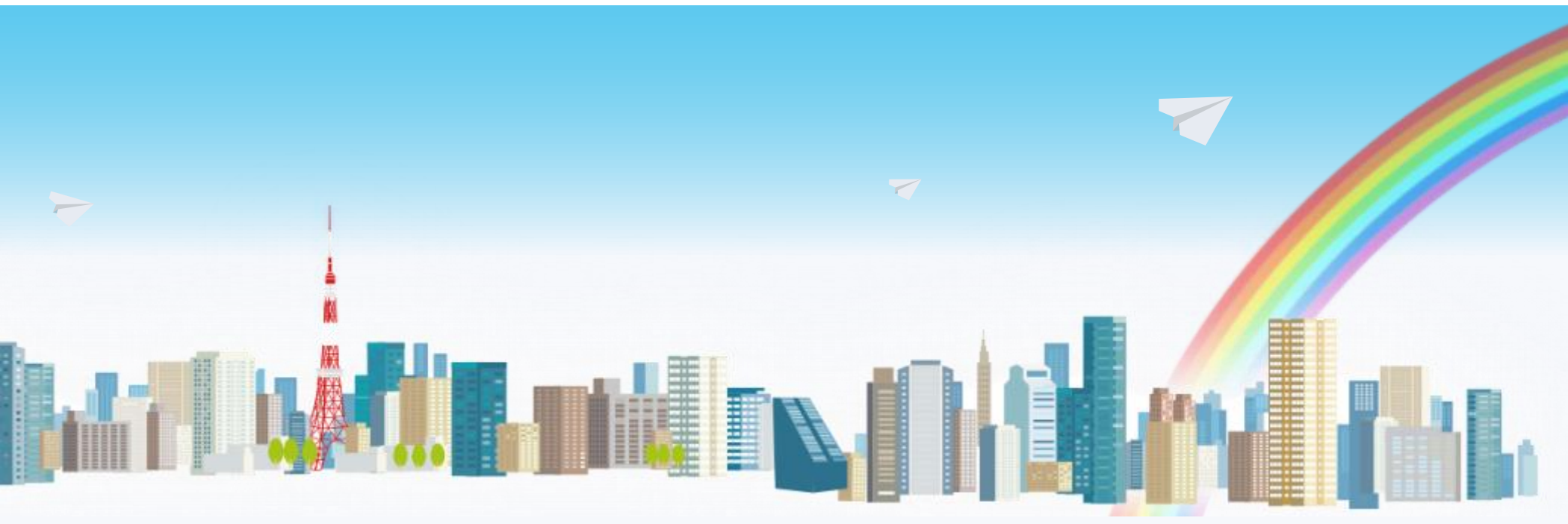


2023年7月14日

2023年11月期 第2四半期 決算説明資料



AHCグループ株式会社
証券コード：7083



| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 2023年11月期 第2四半期実績 | 3P |
| 2 | 2023年11月期 通期業績予想 | 14P |
| 3 | 2023年11月期 主要取組事項 | 21P |
| 4 | 補足資料（会社・事業概要） | 24P |



| | | | |
|---|-------------------|-------|-----|
| 1 | 2023年11月期 第2四半期実績 | | 3P |
| 2 | 2023年11月期 通期業績予想 | | 14P |
| 3 | 2023年11月期 主要取組事項 | | 21P |
| 4 | 補足資料（会社・事業概要） | | 24P |



- 福祉既存事業所の稼働の回復、前期・今期開設した事業所の立ち上がり及び外食既存店舗の回復により、売上高は前期比524百万円増の2,843百万円となった一方で、介護既存事業所の稼働回復の遅れ、福祉既存事業所の費用増加により、営業利益は横ばいの△103百万円、経常利益は△82百万円となった

(単位：百万円)

| | 2022年11月期 第2四半期累計 実績 (2021/12~2022/05) | | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05) | | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|----------------------------------|--|--------|--|--------|--------------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 2,318 | 100.0% | 2,843 | 100.0% | 524 | 22.6% |
| 売上原価 | 2,220 | 95.8% | 2,687 | 94.5% | 467 | 21.0% |
| 売上総利益 | 98 | 4.2% | 155 | 5.5% | 57 | 58.4% |
| 販売費及び一般管理費 | 209 | 9.0% | 259 | 9.1% | 49 | 23.7% |
| 営業利益又は営業損失 | △111 | △4.8% | △103 | △3.6% | 7 | - |
| 経常利益又は経常損失 | △103 | △4.5% | △82 | △2.9% | 20 | - |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失 | △84 | △3.6% | △64 | △2.3% | 19 | - |



- 福祉既存事業所の稼働がやや想定に及ばず、また、介護事業所の稼働が想定を下回ったことにより売上高・利益ともに当初の予想を下回る結果となった

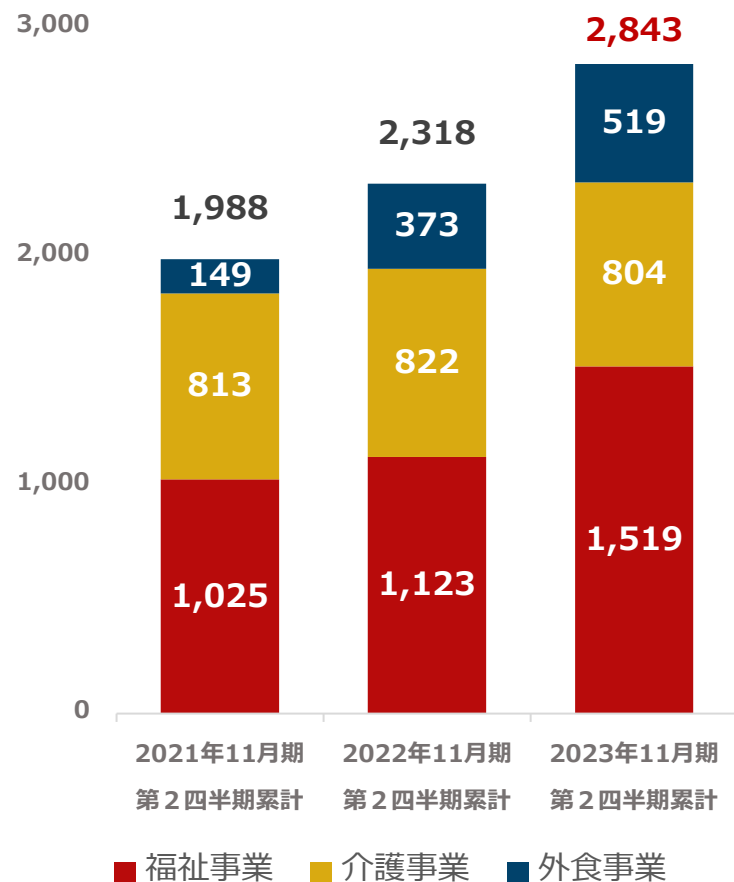
(単位：百万円)

| | 2023年11月期 第2四半期累計 予想 (2022/12~2023/05) | | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05) | | 予想比 増減額 | 予想比 増減率 |
|----------------------------------|--|--------|--|--------|------------|------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 2,929 | 100.0% | 2,843 | 100.0% | △86 | △2.9% |
| 営業利益又は営業損失 | △63 | △2.2% | △103 | △3.6% | △40 | — |
| 経常利益又は経常損失 | △69 | △2.4% | △82 | △2.9% | △12 | — |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失 | △57 | △1.9% | △64 | △2.3% | △7 | — |



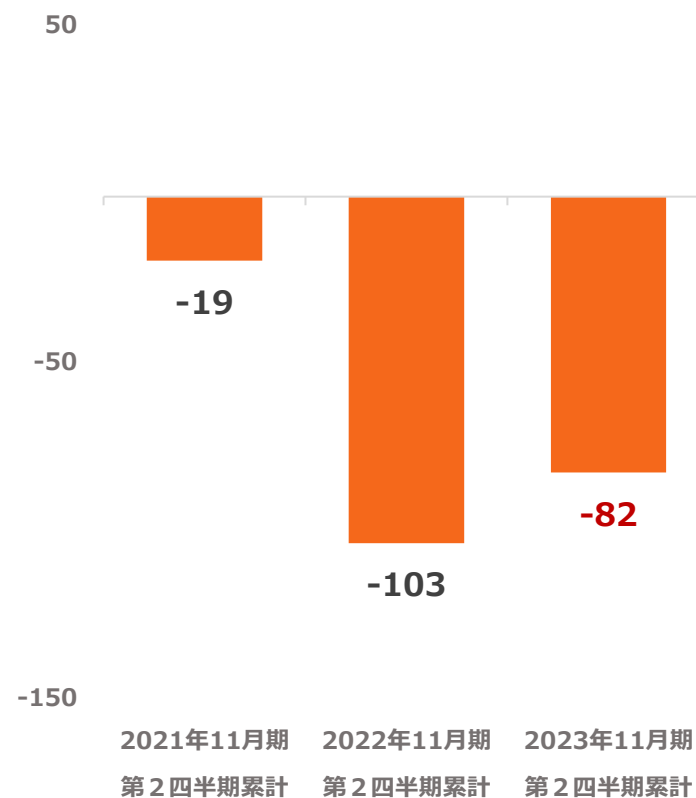
売上高の推移

(単位：百万円)

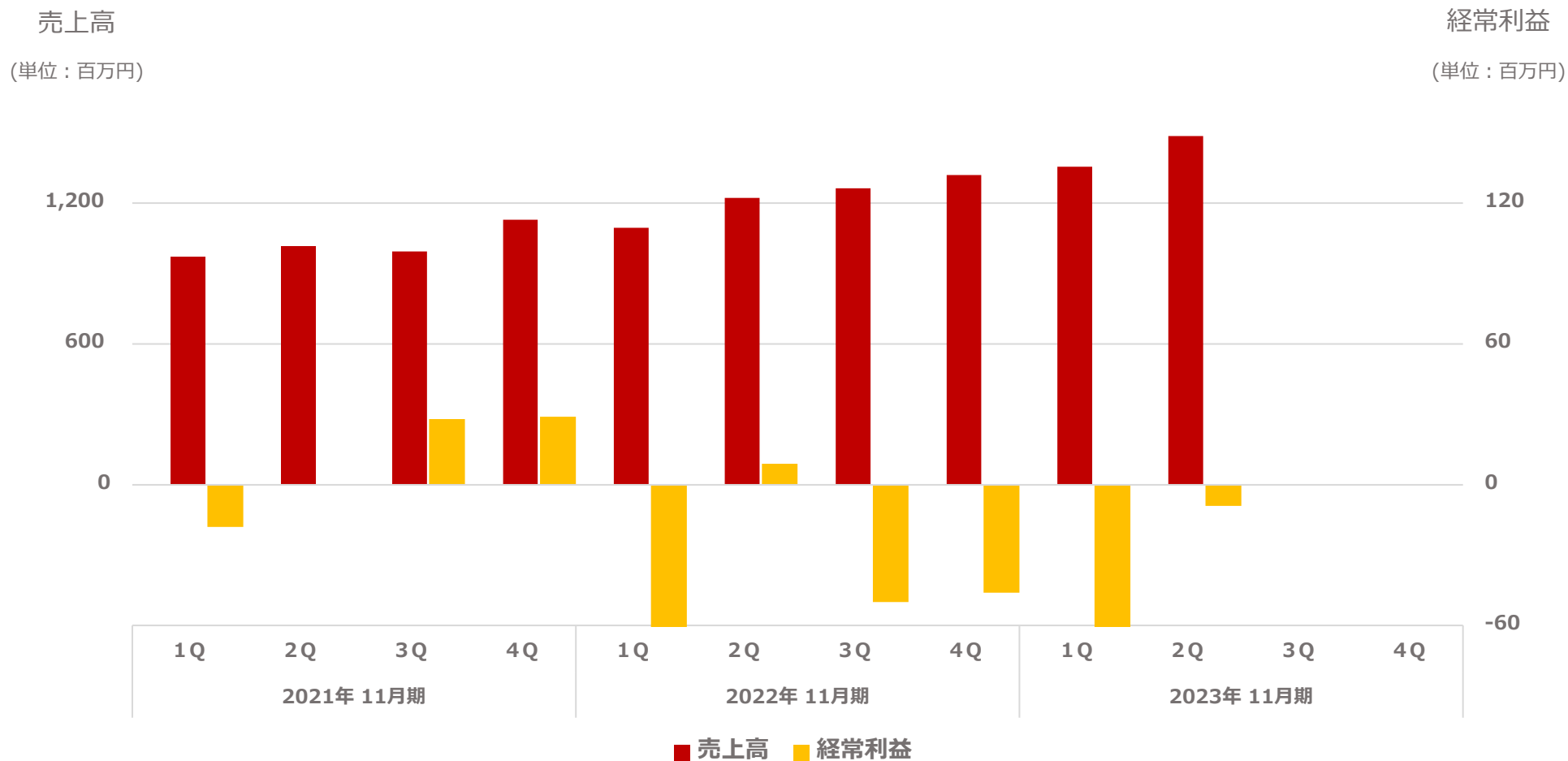


経常利益の推移

(単位：百万円)



- 新型コロナウイルス感染症の収束にともない、売上高は四半期ベースでは順調に増加、経常利益のマイナス幅も縮小した



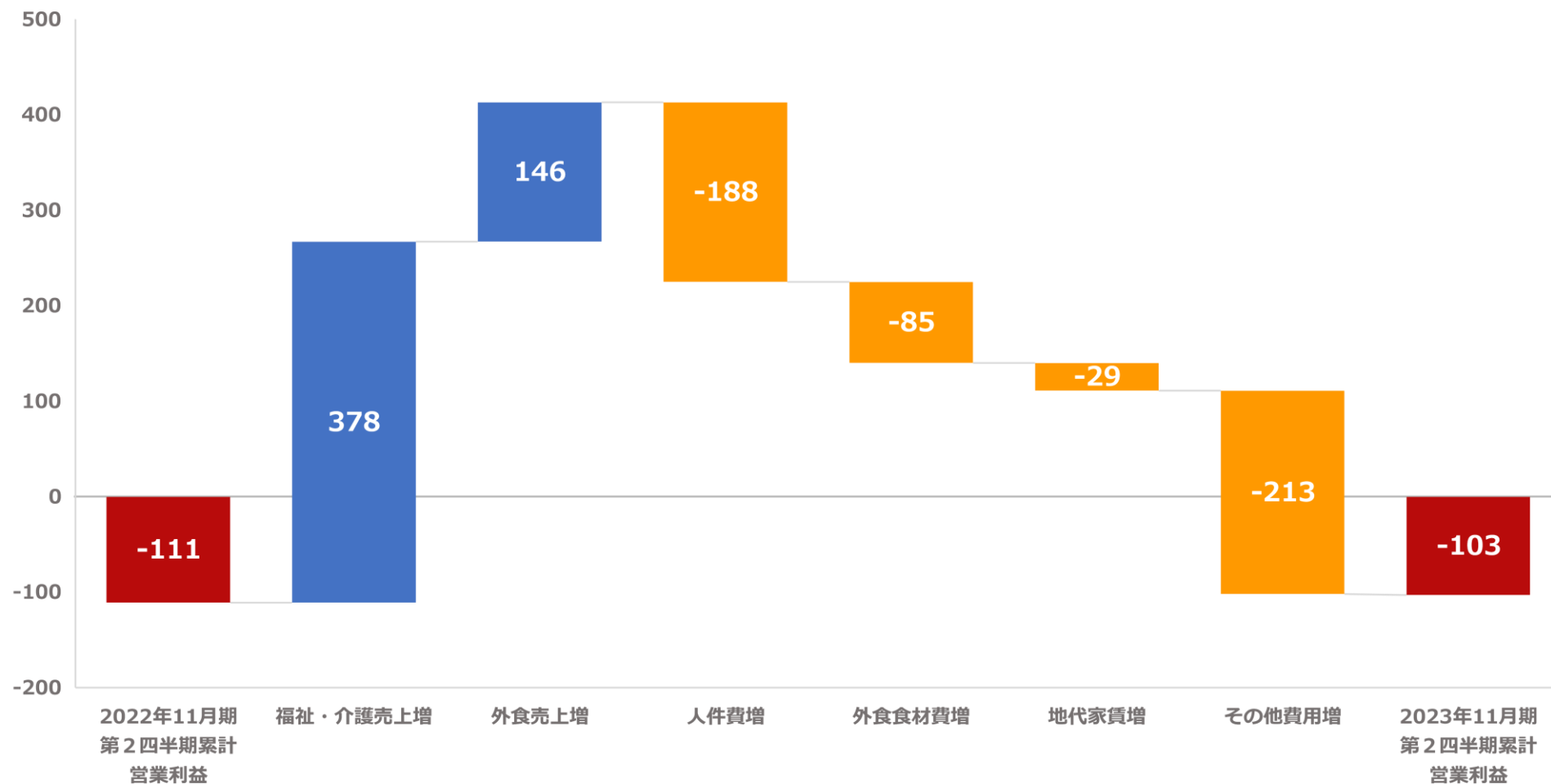
- 売上原価は事業所数の増加、新卒採用の強化、水道光熱費の高騰等により増加した
- 販売費及び一般管理費は人員の増強、M&Aによるのれん償却により増加した

(単位：百万円)

| | 2022年11月期 第2四半期累計 実績 (2021/12~2022/05) | | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05) | | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|------------|--|--------|--|--------|--------------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 2,318 | 100.0% | 2,843 | 100.0% | 524 | 22.6% |
| 売上原価 | 2,220 | 95.8% | 2,687 | 94.5% | 467 | 21.0% |
| (人件費) | 1,116 | 48.1% | 1,297 | 45.6% | 181 | 16.2% |
| (原価外食食材費) | 185 | 8.0% | 271 | 9.6% | 85 | 46.2% |
| (地代家賃) | 251 | 10.9% | 280 | 9.9% | 28 | 11.5% |
| (その他) | 666 | 28.8% | 837 | 29.5% | 171 | 25.7% |
| 販売費及び一般管理費 | 209 | 9.0% | 259 | 9.1% | 49 | 23.7% |
| (人件費) | 43 | 1.9% | 50 | 1.8% | 6 | 16.1% |
| (地代家賃) | 5 | 0.2% | 5 | 0.2% | 0 | 6.3% |
| (その他) | 160 | 6.9% | 203 | 7.2% | 42 | 26.3% |
| 営業利益又は営業損失 | △111 | △4.8% | △103 | △3.6% | 7 | - |



(単位：百万円)



- 福祉事業は既存事業所の稼働の回復及びM&A取得事業所の効果により売上高が増加した一方で、事業所開設費用等の増加により営業利益は減少した(前期比)
- 介護事業はコロナ要因の利用キャンセルが長引き、売上高・営業利益ともに減少した(前期比)
- 外食事業は順調に回復が進み、売上高・営業利益ともに大幅に増加した(前期比)

(単位：百万円)

| | | 2022年11月期 第2四半期累計 実績 (2021/12~2022/05) | 2023年11月期 第2四半期累計 予想 (2022/12~2023/05) | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05) | 前年同期比 増減額 | 予想比 増減額 |
|------|------|--|--|--|--------------|------------|
| | | 金額 | 金額 | 金額 | | |
| 福祉事業 | 売上高 | 1,123 | 1,560 | 1,519 | 396 | △40 |
| | 営業利益 | 48 | 21 | 24 | △23 | 3 |
| 介護事業 | 売上高 | 822 | 882 | 804 | △18 | △78 |
| | 営業利益 | △26 | 7 | △53 | △26 | △60 |
| 外食事業 | 売上高 | 373 | 486 | 519 | 145 | 32 |
| | 営業利益 | △41 | △9 | 8 | 50 | 18 |
| 調整額 | 売上高 | 0 | - | 0 | 0 | 0 |
| | 営業利益 | △91 | △81 | △84 | 7 | △2 |
| 計 | 売上高 | 2,318 | 2,929 | 2,843 | 524 | △86 |
| | 営業利益 | △111 | △63 | △103 | 7 | △40 |

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2023年11月期は合計13事業所の開設計画

当初計画(通期) : グループホーム7(60居室)、放課後等デイサービス1、就労継続支援B型2、通所介護2、外食1
 実績(第2四半期末) : グループホーム4(49居室)、放課後等デイサービス-、就労継続支援B型1、通所介護-、外食1

■ 福祉事業：5事業所49居室を開設

共同生活援助（グループホーム） 4事業所

- ・千葉県 1事業所(27居室)
- ・埼玉県 1事業所(6居室)
- ・三重県 2事業所(16居室)

就労継続支援B型 1事業所

- ・「ラシーヌけんこうソムリエファーム」(1月) ※事業譲受

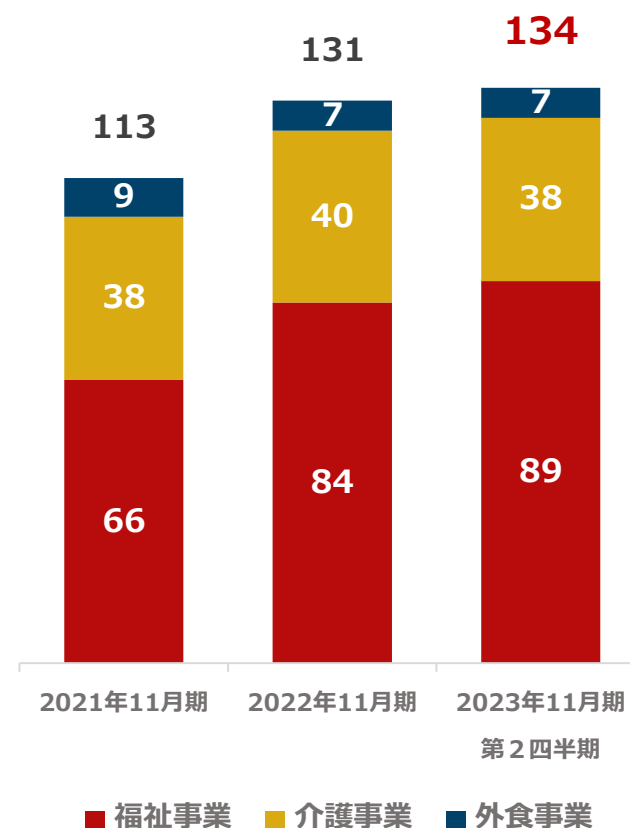
■ 外食事業：1店舗を開店

居酒屋店舗

- ・「ニュー大衆居酒屋 三ぞう」(4月)

※介護デイサービス2事業所閉鎖
 ※テイクアウト1店舗閉店

事業所数の推移



(単位：百万円)

| | 2022年11月期実績 | 2023年11月期 第2四半期実績 | 前期比 増減額 |
|------------|-------------|----------------------|------------|
| 流動資産 | 3,111 | 2,872 | △238 |
| 固定資産 | 2,092 | 2,346 | 254 |
| (有形固定資産) | 1,219 | 1,283 | 63 |
| (無形固定資産) | 343 | 341 | △2 |
| (投資その他の資産) | 528 | 722 | 194 |
| 総資産 | 5,206 | 5,219 | 13 |
| 負債 | 4,120 | 4,195 | 74 |
| (流動負債) | 1,061 | 1,000 | △61 |
| (固定負債) | 3,058 | 3,194 | 135 |
| 純資産 | 1,085 | 1,024 | △61 |

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の減少(△327百万円)
- 売掛金の増加(+57百万円)
- 未収還付法人税等の増加(+16百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 事業所開設による建物の増加(+74百万円)
- 不動産の購入による増加(+179百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+99百万円)

■ 純資産の増減要因

- その他資本剰余金(△79百万円)
- 繰越利益剰余金(+14百万円)



(単位：百万円)

| | 2022年11月期 第2四半期累計 実績 | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 税金等調整前当期純利益 | △113 | △85 |
| 営業活動によるCF | △15 | △81 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △361 | △308 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 124 | 1 |
| 事業譲受による支出 | - | △23 |
| 投資活動によるCF | △252 | △343 |
| 短期借入れによる増減 | 50 | △50 |
| 長期借入れによる収入 | 580 | 410 |
| 借入金返済による支出 | △205 | △260 |
| 財務活動によるCF | 421 | 97 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 153 | △327 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,488 | 2,058 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,642 | 1,731 |



| | | | |
|---|-------------------|-------|-----|
| 1 | 2023年11月期 第2四半期実績 | | 3P |
| 2 | 2023年11月期 通期業績予想 | | 14P |
| 3 | 2023年11月期 主要取組事項 | | 21P |
| 4 | 補足資料（会社・事業概要） | | 24P |



■ 新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染症の影響は減少したものの、2023年11月期中はある程度の影響は残るものと想定

■ 福祉・介護事業の想定

- 既存事業所の利用キャンセルが減少、稼働の回復による売上高の増加
- 事業所の収益改善策に一定の効果
- 前期開設事業所及びM&Aにより取得した事業所が売上高・利益に貢献

■ 外食事業の想定

- 既存店舗の来店客数の順調な回復による売上高・利益の増加
- 居酒屋店舗新店の立ち上がりによる売上高・利益の貢献



- 各事業で実施している収益改善策に一定の効果が見られることから、当初の業績予想を維持することとした

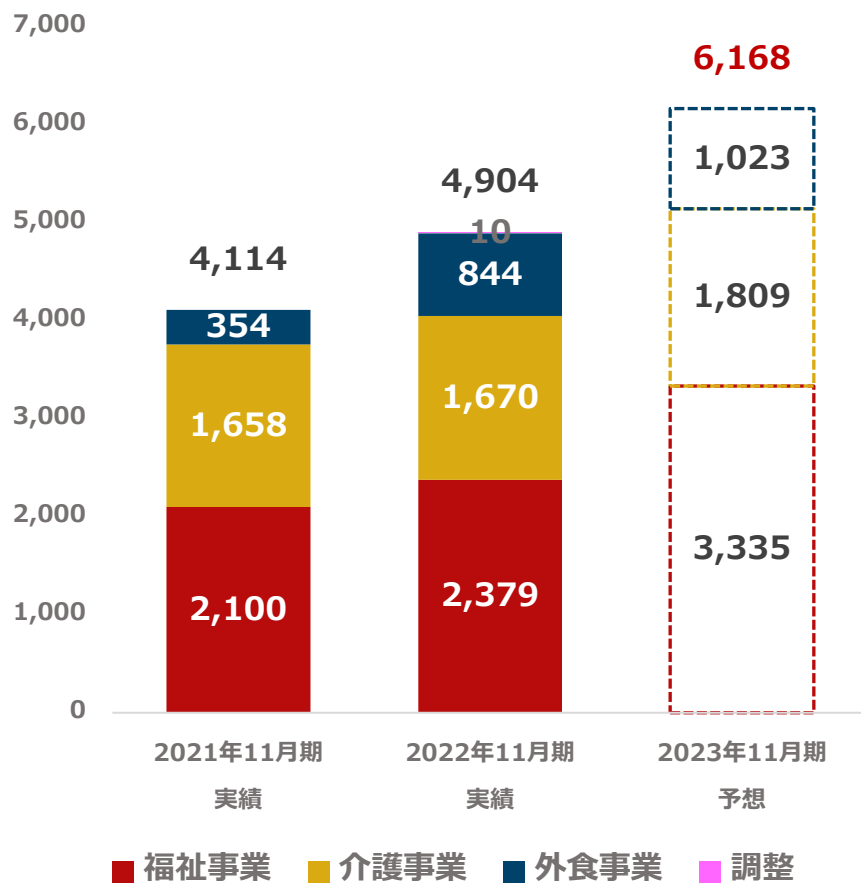
(単位：百万円)

| | 2023年11月期 第2四半期累計実績 (2022/12~2023/05) | 2023年11月期 予想 (2022/12~2023/11) | 進捗率 |
|----------------------------|---|-----------------------------------|-------|
| | 金額 | 金額 | |
| 売上高 | 2,843 | 6,168 | 46.1% |
| 営業利益又は営業損失 | △103 | 61 | — |
| 経常利益又は経常損失 | △82 | 50 | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失 | △64 | 12 | — |



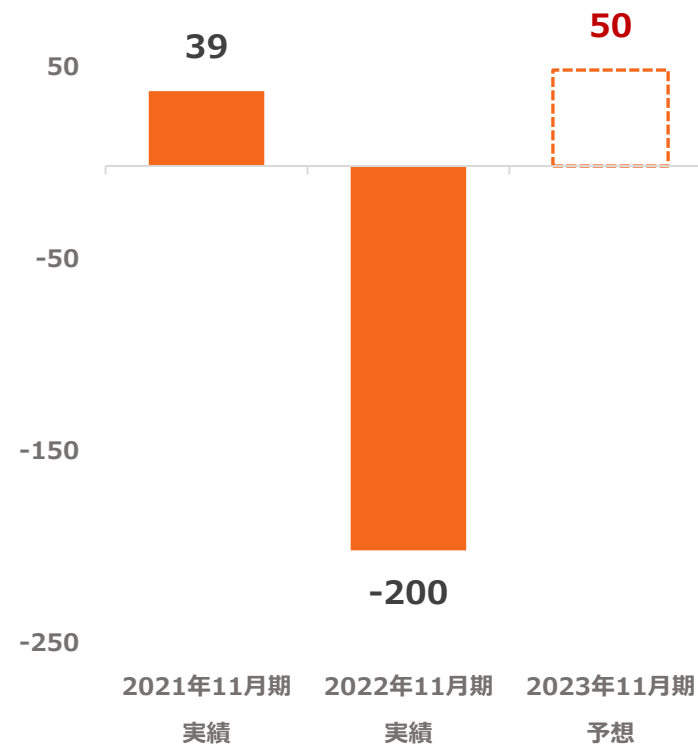
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



■ 福祉・外食事業を中心に介護を含むすべての事業セグメントが利益に貢献するものと予想

(単位：百万円)

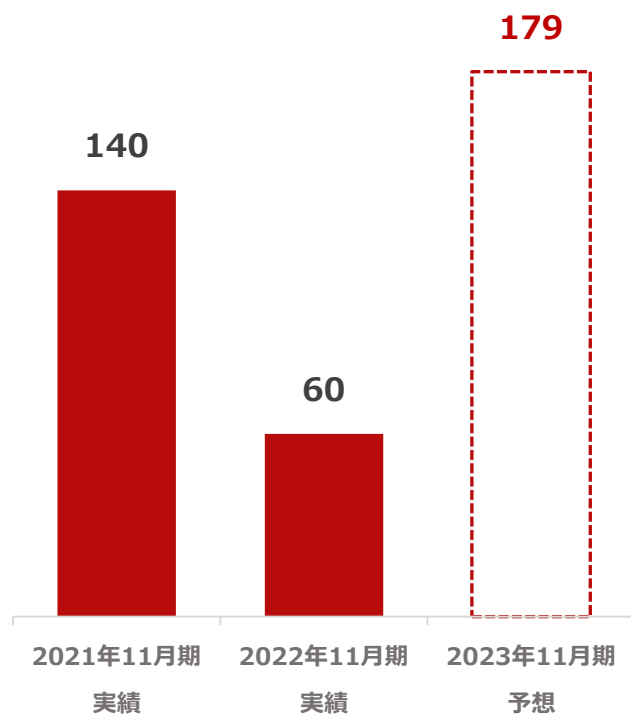
| | | 2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05) | 2023年11月期 予想 (2022/12~2023/11) | 進捗率 |
|------|------|--|-----------------------------------|--------|
| | | 金額 | 金額 | |
| 福祉事業 | 売上高 | 1,519 | 3,335 | 45.6% |
| | 営業利益 | 24 | 179 | 13.9% |
| 介護事業 | 売上高 | 804 | 1,809 | 44.4% |
| | 営業利益 | △53 | 37 | - |
| 外食事業 | 売上高 | 519 | 1,023 | 50.7% |
| | 営業利益 | 8 | 8 | 107.7% |
| 調整額 | 売上高 | 0 | - | - |
| | 営業利益 | △84 | △163 | - |
| 計 | 売上高 | 2,843 | 6,168 | 46.1% |
| | 営業利益 | △103 | 61 | - |

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

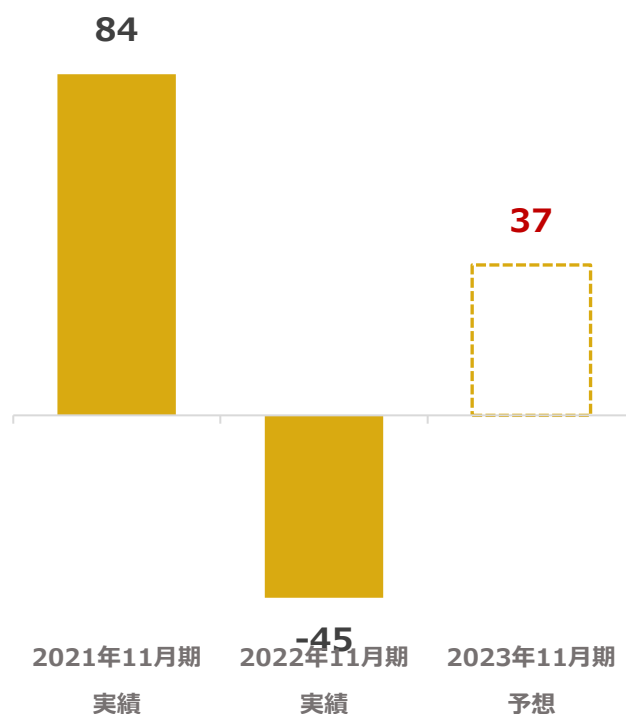


(単位: 百万円)

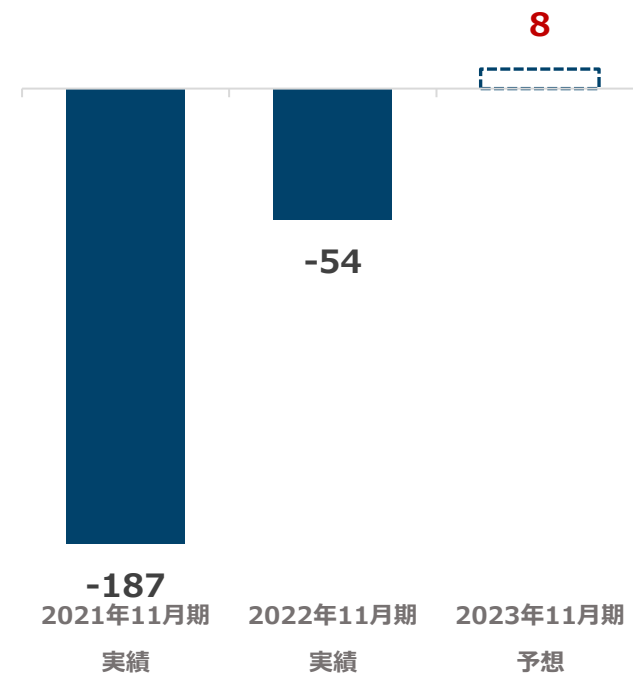
福祉事業



介護事業



外食事業



2023年11月期の下半期においては、継続して既存事業所の収益改善に注力するため、グループホームの追加住居(2居室)の開設とする

事業所数の推移

■ 福祉事業：5事業所51居室を開設

共同生活援助（グループホーム） 4事業所

- ・千葉県 1事業所(27居室)
- ・埼玉県 1事業所(6居室)
- ・三重県 2事業所(16居室) ⇒ (18居室)

就労継続支援B型 1事業所

- ・「ラシーヌけんこうソムリエファーム」(1月)

※事業譲受

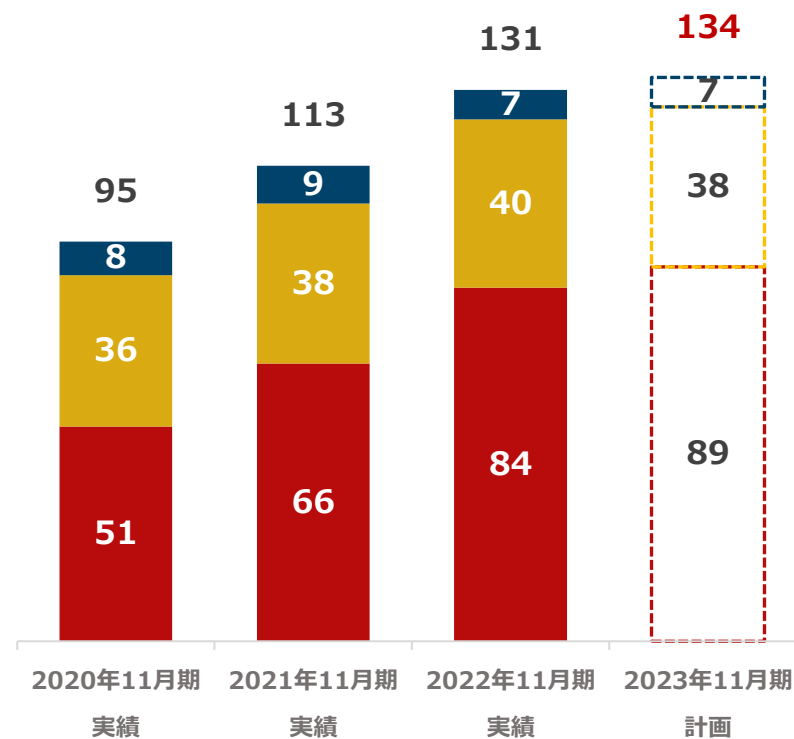
■ 外食事業：1店舗を開店

居酒屋店舗

- ・「ニュー大衆居酒屋 三ぞう」(4月)

※介護デイサービス2事業所閉鎖

※テイクアウト1店舗閉店



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



| | | |
|---|-------------------------|------------|
| 1 | 2023年11月期 第2四半期実績 | 3P |
| 2 | 2023年11月期 通期業績予想 | 14P |
| 3 | 2023年11月期 主要取組事項 | 21P |
| 4 | 補足資料（会社・事業概要） | 24P |



業績の向上を促す施策を推進

継続した事業所の開設

上期：グループホーム4事業所(49居室)を開設
下期：グループホーム2居室を追加開設予定

既存事業所の収益改善

上期：**福祉・介護・外食** 各事業の収益改善に注力
下期：

M&Aの推進

上期：就労継続支援B型事業所(1事業所)を譲受け
下期：継続してM&A情報の積極的な収集・検討

組織の改編

上期：福祉事業の組織を首都圏と東海・関西地域に分割
下期：新組織の機動的・効率的な運用を推進

スクラップ&ビルドの推進

上期：テイクアウト業態から居酒屋業態に転換
介護事業所を2事業所閉鎖



■ 福祉事業/介護事業

■ 売上高

- レクリエーション等のイベントにより利用動機を促進(福祉・介護)
- 施設利用頻度の増加提案を実施(福祉・介護)
- 有資格者を採用(福祉)

■ 原価販管費

- 消耗品等の仕入先を見直し、改善を実施(福祉・介護)

■ 外食事業

■ 売上高

- 居酒屋メニューのブラッシュアップにより客単価を向上
- 加工・物流センターの販路拡大を実施

■ 原価販管費

- セルフオーダーシステムの導入(iPad・QR)により効率を改善
- 食材の仕入先を見直し、改善を実施



| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 2023年11月期 第2四半期実績 | 3P |
| 2 | 2023年11月期 通期業績予想 | 14P |
| 3 | 2023年11月期 主要取組事項 | 21P |
| 4 | 補足資料（会社・事業概要） | 24P |



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進





持続可能な社会への貢献を目指す
環境循環型モデル事業「GROWTH FIELD」

①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこと栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する

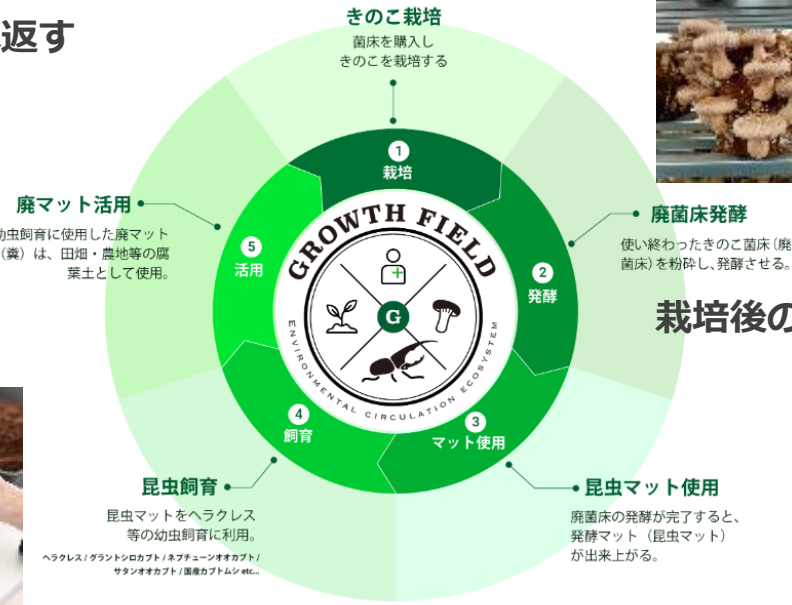
昆虫育成後の廃マットは
畑の養分になるため土へ返す



きのこと栽培(菌床椎茸の栽培・販売)



※純国産の菌床を使用した、
千葉県産の菌床椎茸として販売



栽培後の廃菌床に養分を足して発酵させる



ヘラクレスオオカブト等の昆虫の幼虫を育てる
「昆虫マット」として活用



②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)

付加価値の高い仕事場を提供することで、就労継続支援B型事業所「TODAY」利用者の「多様性のある社会参加」と「工賃向上」を推進

「きのこハウス」
(菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」
(ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃

就労継続支援B型事業所
+oday





当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

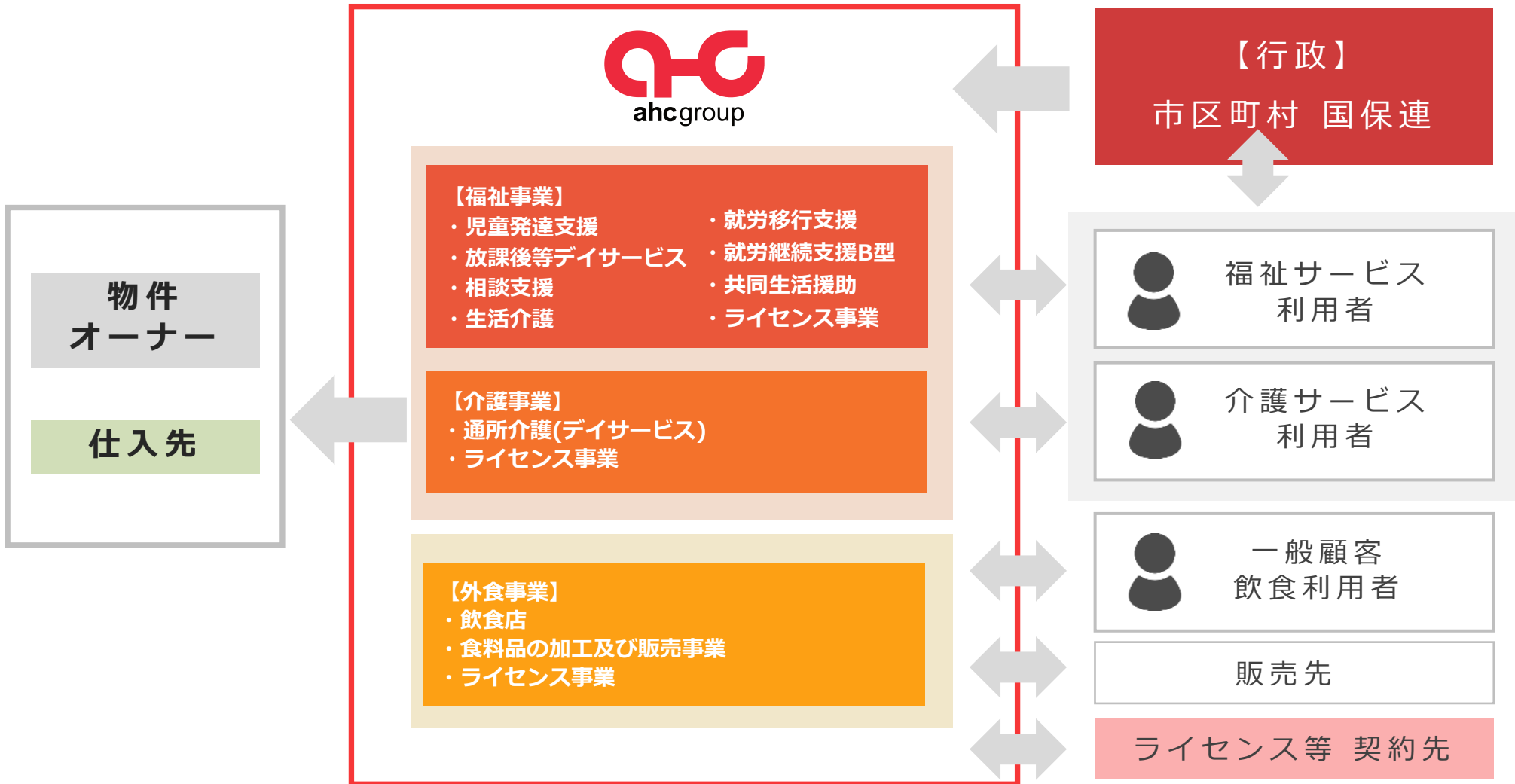
| | |
|-------|---|
| 会社名 | AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ) |
| 本店所在地 | 〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号 イトーピア橋本ビル2F |
| 代表者 | 代表取締役社長 荒木喜貴 |
| 設立 | 2010年1月 |
| 資本金 | 51,706千円 (2023年5月31日現在) |
| 従業員人数 | 482人 (2023年5月31日現在) ※パート・アルバイト除く |
| 業種 | 福祉事業、介護事業、外食事業 他 |

グループ会社 (連結子会社)

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)



福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供
障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供



《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供



《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施



《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス



働く世代をメインターゲットにした店舗を展開

外食事業：業態別概要



《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン・OL層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態



《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

20～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態



《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応

TOPIC

ニュー大衆居酒屋 三ぞう池袋芸術劇場前店 2023年4月14日OPEN





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

